
皇道の艦隊 兵器紹介

橘花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

皇道の艦隊 兵器紹介

【Nコード】

N0190R

【作者名】

橘花

【あらすじ】

これは私の書いている皇道の艦隊に出てくるオリジナルの兵器を紹介するものです。なお、原則として全長や全幅など大きさに関する事は書きません。それらは個人の創造にお任せします。

神武型戦艦

神武型戦艦 同型艦「神武」じんむ 「安寧」あんねい 「孝昭」こうしょう 「孝霊」こうれい

対米装備

武装 61cm60口径四連装4基

20cm65口径三連装2基

12.7cm65口径連装高角砲30基

20mm四十連装無誘導噴進弾8基

28mm電探連動砲150基

基準排水量152000t 満排水量158000t

速力 33ノット

対独装備（改装期間九ヶ月）

武装

61cm65口径四連装4基

25cm65口径三連装2基

20cm三十連装無誘導噴進弾12基

対潜爆雷砲 8基

マ式爆雷砲 8基

多目的誘導ミサイル VLS 28基

57mm電探連動バルカン砲 28基

神武にのみその他秘匿装備や兵器多数

基準排水量 16000t 満排水量 16800t

速力 35ノット

因みに、皇道艦隊の由来は皇国の誤りを正す道から採った。

艦名は天皇の名を与えた。

天照型航空戦艦

天照型航空戦艦 同型艦 「天照」^{あまてらす} 「八岐大蛇」^{やまたのおろち} 「素戔鳴尊」^{すさのおのみこと} 「奇稲」^{くしな}
田姫^{だひめ} 「海神」^{わたつみ} 「閻御津羽神」^{くらみつは}

対米装備

武装

40. 6 cm 55口径三連装4基

15. 5 cm 60口径連装2基

15. 5 cm 60口径単装8基

12. 7 cm 65口径連装高角砲20基

25 mm 電探連動砲40基

基準排水量123000 t 満排水量130400 t

艦載機数300機 速力32ノット

カタパルトなど航空機発艦装備も充実しており、実質どんな機体でも運用可能だが、航空戦艦専用艦載機を搭載している。

対独装備（改装期間七ヶ月）

武装

40.6cm55口径三連装3基

15.5cm60口径連装2基

15.5cm60口径単装8基

20cm三十連装噴進弾8基

対潜爆雷砲6基

マ式爆雷砲4基

多目的ミサイルVLS28基

基準排水量135000 t

満排水量142000 t

艦載機数300機（機種により変化あり。） 速力34ノット

艦名は日本書紀の伝説の生き物、神、人物の名を採った。

艦上戦闘機 龍戦

単座の航空戦艦用艦上戦闘機

速力 時速700km（巡行速度620km）

航続距離 1700km

武装

30mm機関砲を4門（機首に2門、主翼に2門）（装弾数はベルト給弾式で1門あたり200発）

150kg爆弾を2個又は250kg爆弾を1個

40kg無誘導噴進弾両翼合計10本

航空戦艦配備用に設計された単座の艦上戦闘機。形状はP-51を少し小型にした形状。、エンジンをより高馬力に換装した龍戦？型は対米戦の途中から、ジェット戦闘機に改良した龍戦改も日米講和後に登場する

艦上攻撃機 風海

三座の航空戦艦専用艦上攻撃機

速力 時速620キロ（巡航590キロ）

航続距離 1900 km

武装

15 mm機銃2門（機首）

15 mm機銃連装旋回式1基（機体上部）

15 mm機銃旋回式1門（機体下部）

250 kg爆弾4個

500 kg爆弾2個

1 t 爆弾 1 個

航空機用酸素魚雷 1 個

航空戦艦配備用に開発された三座の艦上攻撃機。形状はアベンジャーを小型化発展させた機体。アベンジャーと同様に急降下爆撃も行うため航空戦艦に爆撃機は配備されていない。

より高馬力のエンジンに換装した風海？型は対米戦の途中から。ジェット型の風海改は日米講和後に登場するが、本編では語る予定が無く新型機を登場させる予定。

青龍型航空母艦

青龍型航空母艦 同型艦 「青龍」^{せいりゅう} 「水龍」^{すいりゅう}

対米装備

30mm電探連動砲 26基

12.7mm65口径連装高角砲 12基

基準排水量 47000t 満排水量 59000t

艦載機140機 速力34ノット

対独装備（六ヶ月）

対空ミサイル6基

30mm電探連動砲 28基

20cm連装砲2基（艦首と艦尾）

アングルドデッキやカタパルトの本格配備、エレベーターの増設や飛行甲板の拡張を行う。何故こんなにも改装期間が短いかというと、予め飛行甲板とその他の用意をしておき、旧型の飛行甲板を取り外して取り替えると言うとんでもない早さの改装だからである。船体は初めからこの様に設計されている為問題なし。

満排水量70000トンに増加

艦載機120機に低下

速力35ノットに増加

艦上偵察戦闘機 瑞翔

複座の航空戦艦専用艦上偵察戦闘機

速力 時速640キロ（巡航580キロ）

航続距離 2100キロ

武装

15mm3門（機首に1門、主翼に2門）

15mm後部旋回式連装機銃1基

250kg爆弾2個 500kg爆弾1個

航空戦艦配備用に開発した複座の艦上偵察戦闘機。主に偵察を主任務とするが、長い距離飛ぶ為燃料タンクが広いことと、偵察中に敵と接機を受けたときに備えて格闘戦などの空中戦を考慮した設計になっている。形状は晴嵐を発展させたものと思えばいい。

高馬力エンジンに換装した瑞翔？型は対米戦の途中から、ジェット化したものは登場予定が無い。

黄龍型航空母艦

黄龍型航空母艦 同型艦「黄龍」（こうりゅう） 「赤龍」（せきりゅう）

対米装備

30mm電探連動砲 20基

12.7cm65口径連装高角砲 10基

基準排水量 40000t 満排水量 52000t

艦載機120機 速力35ノット

対独装備（改装期間四ヶ月）

対空ミサイル 6基

30mm電探連動砲 16基

20cm噴進弾30連装 8基

改装期間が短いのは青龍型と同様の理由。エレベーターは対米時は3基だが、対独時は4基に増加

満排水量は55000tに増加

艦載機は110機に低下

速力は37ノットに増加

紫龍型航空母艦

紫龍型航空母艦 同型艦「紫龍」しりゅう 「緑龍」りょくりゅう

対米装備

30mm電探連動砲 18基

12.7cm65口径連装高角砲 8基

基準排水量28000t 満排水量37000t

艦載機100機 速力35ノット

対独装備（改装期間四ヶ月）

30mm電探連動砲 20基

20cm20連装噴進弾 16基

対空ミサイル 4基

改装期間は他の空母と同様。他の皇道艦隊所属空母と違い閉鎖式格納庫を持っているが、改装後は開放式格納庫に変更。皇道艦隊所属空母はどれも従来の木造飛行甲板と違い、アメリカ空母でも多く見られる鉄製の甲板である。なお、他の日本空母と違い初めからアングルドデッキも採用されているし、カタパルトも装備している。

エレベーターを3基に増設。

満排水量は40000tに増加

速力38ノットに増加

御嶽型重巡洋艦

御嶽型重巡洋艦 にみやま 同型艦 おのだけ 「御嶽」 おんたけ 「御山」 おやま 「彦岳」 ひこだけ 「東山」 あずまやま 国 くに
見山 みやま 「日向山」 ひなたやま 「大野岳」 おのだけ 「大森」 おもり 「三峰」 みつみねやま 「冷水山」 ひやみずさん

対米装備

20.3cm65口径四連装砲 4基

61cm四連装酸素魚雷発射管 4基

12.7cm55口径連装高角砲 4基

30mm電探連動砲 10基

基準排水量12000t 満排水量15000t

速力 35ノット

対独装備

20. 3センチ65口径四連装砲 3基

61cm五連装酸素魚雷発射管 4基

多目的ミサイルVLS 8基

20cm電探連動砲 14基

爆雷発射機 4基

基準排水量13400t 満排水量14500t

速力36ノット

玉川型防空重巡洋艦

玉川型防空重巡洋艦 同型艦「玉川」^{たまがわ}「須川」^{すかわ}「天竜」^{てんりゅう}「弓沢」^{ゆみざわ}
黒沢^{くろさわ}「穂高川」^{ほたかがわ}

対米装備

20.3cm55口径連装4基

56cm三連装魚雷発射管 2基

12.7cm65口径四装高角砲 12基

30mm電探連動砲 22基

基準排水量11000t 満排水量12600t

速力34ノット

対独装備

20.3cm55口径連装2基

56cm三連装魚雷発射管2基

対空ミサイルVLS20基

12cm三十連装噴進弾4基

30mm電探連動砲24基

基準排水量12500t	満排水量13400t
-------------	------------

速力34ノット

雷装砲撃潜水艦

雷装砲撃潜水艦 同型艦「清竜号」(潜水艦ナンバール 伊201)
「神竜号」(潜水艦ナンバール 伊202)「空竜号」(潜水艦ナンバール 伊203)「雷竜号」(潜水艦ナンバール 伊204)」

武装

30cm60口径連装砲2基

68cm魚雷発射管10基(前部に8基、後部に2基)

25mm三連装機銃5基

基準排水量8000t 満排水量10000t

速力28ノット(水上) 20ノット(水中)

艦載機 清竜号 雷洋 3機

神竜号・空竜号 草連 3機

雷竜号 星電改 2機

基本紺碧艦隊所属艦だが、別行動を取ることもある。大型潜水艦として米本土を攻撃した以外にもスエズ運河封鎖を行うなど活躍をしている。

赤石型輕巡洋艦

赤石型輕巡洋艦
こまごめ
駒込」
同型艦「赤石」
あかいし
「相馬」
そうま
「正津」
しょうづ
「沖館」
おきだて
「

対米装備

15.5cm60口径三連装砲2基

45cm三連装魚雷発射管2基

25mm電探連動砲8基

基準排水量8900t
満排水量9500t

速力37ノット

対独装備

12.7cm65口径連装砲2基

48cm三連装魚雷発射管2基

25mm電探連動砲6基

爆雷投射機4基

爆雷発射機2基

基準排水量8900t

満排水量9900t

速力38ノット

黒目型防空軽巡洋艦

黒目型防空軽巡洋艦
きたざわ
北沢」
同型艦「黒目」くろめ
「江古田」えこた
「谷端」やばた
「

対米装備

14 c m連装砲2基

10 c m連装高角砲6基

20 m m電探連動砲14基

基準排水量7080 t
満排水量8100 t

速力35ノット

対独装備

14 c m連装砲1基

対空ミサイルVLS15基

多目的ミサイルVLS4基

20mm電探連動砲10基

基準排水量7500t 満排水量8300t

速力37ノット

黒目のみ同型艦と比べて高性能電探を搭載。その他、指揮艦装備を充実して艦隊防空に努める。

雷鳴型駆逐艦

雷鳴型駆逐艦	同型艦	雷鳴	浅瀬	咲晴	蛭雪	天雪
「夏瑞」 なつみず	「三瀬」 みせ	「佐崎」 ささき	「薔」 つばみ	「梅雨」 つゆ	「立風」 たつかぜ	「水嶋」 みずしま
「夕辻」 ゆうつじ	「神主」 かみぬし	「瑞樹」 みずぎ	「長島」 ながしま	「初夏」 しよか		
				「晴朗」 せいろう		

対米装備

12.7cm60口径連装3基

45cm三連装魚雷発射管3基

20mm電探連動砲4基

10cm65口径連装高角砲4基

爆雷投下機と爆雷投射機2基ずつ

基準排水量3070t

満排水量3500t

速力38ノット

対独装備

12.7cm65口径連想3基

51cm三連装魚雷発射管4基

20mm電探連動砲6基

多目的ミサイルVLS6基

爆雷投下機と爆雷投射機2基ずつ

基準排水量3200t 満排水量3560t

速力38ノット

二式超重戦車

二式超重戦車（初期型）

武装

170mm単装長身巨砲1門

55mm単装副砲2門

37mm機銃（主砲付近1門、後部に1門、上部に360°
旋回式1門）3門

装甲320mm～250mm

速度 時速18km（整地）

時速12km（不整地）

航続距離300km

前世のブリキの戦車の反省から青風会が破壊困難な戦車を開発させた新式戦車。大出力エンジンと大型の燃料タンクの採用により長い航続距離と重装甲にも関わらず戦闘に支障が出ないギリギリの速度で設計された。なお、巨体の為に従来の戦車揚陸艦では運用できず、専用の特殊揚陸艦を使って上陸する。

二式超重戦車（改良後期型）

武装

160mm単装長身巨砲1門

60mm単装副砲2門

37mm（主砲付近に1門、車体前部に1門、車体後部に1門、上部に360°旋回式1門）4門

装甲370mm／250mm

速度 時速25km（整地）

時速21km（不整地）

航続距離320km

初期型よりもより大出力エンジンを搭載し速度を向上させたタイプ。燃料も増加タンクを取り付ける事で向上に成功した。だが、やはり速度を生かす独逸戦車には機動戦では敵わない。その為単純な撃ち

合いにうまく引き摺り込むように戦うのは指揮官の優秀さに掛かっている。

二式超重戦車（印度戦線以降）

180mm単装長身巨砲1門

88mm連装副砲2基

40mm機銃（主砲付近1門、車体四方向1門ずつ、上部に連装自由旋回式機銃1基）計6門

装甲370mm／280mm

速度 45km（整地） 32km（不整地）

航続距離340km

改良型に2300馬力の高出力エンジンを搭載したことで速度がドイツ戦車並みの上がった。更に燃料タンクも増設したことで航続距離も増えた。ラジエーターも装甲内に造り、排熱を煙突で行い、冷却を冷却タンクに入っている水で行うようにすることで戦車の弱点であるラジエーターを完全防御した。今までの弱点である機動力もこれで高まり、ドイツ戦車の撃破が容易くなった。電装品等も装備され、近代的装備を施された戦車。

北加呂来那

ノースカロライナ
北加呂来那

同型艦なし

武装

40.6cm65口径三連装砲3基

30mm電探連動砲30基

対空ミサイル20基

12.7cm大型連装高角砲12基

基準排水量37000t

満排水量45000t

速力32ノット

豪州封鎖作戦の一環で皇道艦隊が拿捕した戦艦。その後徹底改装され、旭日艦隊支援艦隊「神風艦隊」に所属する。航空戦艦計画も出たが、前世の反省から航空戦艦には改装されずに元の戦艦の艦種で対独戦に参戦。

神鶴型戦時量産空母

神鶴^{しんづる}型戦時量産空母

同型艦多数

武装

28 cm 20連装噴進弾10基

30 mm電探連動砲20基

基準排水量12000 t

満排水量18000 t

速力28ノット
機で115機)

艦載機100機(機首にもよるし、露天駐

カタパルトの使用で新型機も運用可能。排水量が小さいのにこの艦載機数の秘密は2段式大型格納庫を採用し、エレベーターも4基という運用しやすいように工夫されたからである。アメリカが前世で行った週刊空母ほど建造率は良くないが、2〜3ヶ月に1隻の割合で就役し、航空機の輸送に従事している。この空母が小型化した護衛空母や航空機輸送だけを目的とした輸送母艦も存在する。

この大型格納庫を利用して歩兵や物資、戦車なども運搬することが出来、中には医務室などの医療機関もそれなり充実している。その為、病院船にも成り得る。

設計者は勿論平賀靖彦である。

大型正規空母島鶴

大型正規空母 島鶴^{しまづる} 同型艦無し

武装

30 cm 30連装噴進弾14基

30 mm電探連動砲34基

対空ミサイル20基

基準排水量69000 t 満排水量75000 t

速力30ノット 艦載機数180機

旭日艦隊支援艦隊として編成された鹵獲艦、新鋭艦の混ざった艦隊「神風艦隊」旗艦として出撃。

神鶴の2段式大型格納庫の運用テストの結果を元に再設計された大型装甲空母。昭和16年から建造を始め、昭和19年12月に進水し、旭日艦隊出撃の少し前に航空隊訓練等を終え就役。開放式格納庫の採用やアングルドデッキなど、他の日本空母にも見られる装備を施されている。

因みに、神風艦隊の由来は神の住む国に吹く風から採った。決して神風特攻隊から採ったわけではない。

白鷗型軽空母

白鷗型軽空母

同型艦

白鷗 はくおう

黒鷗 こくおう

対米装備

10cm連装高角砲8基

20mm電探連動砲12基

基準排水量11000t

満排水量13000t

速力34ノット

艦載機数50機

平賀靖彦お得意の重量配分で基準排水量を抑えた軽空母。主に皇道艦隊戦艦の防空を担当。エレベーターが3基あり、着艦用ロープが艦後方と艦橋の近くに設置されている。これは露天駐機機を飛び越えて着艦し、次が休み無く防空を担当するという工夫であり、その為練度は単純に正規空母搭乗員とは比較にならないほど優秀。

対独装備

12.7cm30連装噴進弾6基

20mm電探連動砲10基

対空ミサイル10基

基準排水量11500t 満排水量13400t

速力34ノット 艦載機数50機

2段式格納庫に変えた事で搭載機数を減らす事なく運用できる。また、アングルドデッキ採用で多少練度が低くても搭乗員に選ばれるようになった。しかし、それでも司令部直援の為かなりの練度がなくてはならない。

長距離戦闘機 長龍

長距離戦闘機 長龍

速度 時速620km

航続距離 2500km（機体下部増槽ありで3900km）
（翼端増槽装備型は4500km）

武装

20mm機関砲4門（機首。装弾数150発）

30mm機関砲2門（主翼。装弾数120発）

30kg爆弾2つ、又は60kg爆弾1つ

航空機用無誘導噴進弾6本

長い距離を飛ぶ爆撃機を護衛する為に設計された長距離戦闘機であ

る。形状はモスキートを金属製で単座にしたと思えばよい。双発機にも関わらず日本海軍伝統の格闘戦でも米軍機に圧倒的優位にたてるように計画され、さらに高速時でも優れた操縦性と旋回性を要求した結果、自動フラップを装備し、主翼が少し大型化した。

超長距離重爆撃機 富嶽

超長距離重爆撃機 富嶽^{ふがく}

速度 時速780 km

航続距離 25000 km

武装 20 mm機関砲6基

最大爆弾搭載量 35 t

富士計画の一環として開発されていた爆撃機。前世では計画だけで終わった富嶽をより改造して完成させた重爆撃機。ワルターエンジンとは串刺し式で32基、プロペラが前部に反転式プロペラ16基、後部に8基のプロペラ数を誇り実用最大高度23000 mという超高高度飛行を可能にさせた。機銃掃射機型は爆弾倉の中に20 mm機関砲を26門備えた機体である。輸送機型は1機で3個大隊規模を乗せられるが、速度や弾薬等の輸送を考えると規模は減ってしまう。

艦上防空戦闘機 荒鷲

艦上防空戦闘機 荒鷲^{あらわし}

速度 時速640km（ターボジェットエンジン併用時810km）
（ロケットエンジン併用時920km）

武装 30mm機関砲4門（機首）

航続距離 1500km（ターボジェットエンジン併用時30分）
（ロケットエンジン併用時24分）

艦隊防空戦闘機として開発された機体であり、機体下部に上記のエンジンを用いる事でより性能を高められる機体。軽空母で運用できるように滑走距離を出来るだけ短くされているのも特徴である。形状はフォッケウルフTa152が少し胴体を大型にしたと思えばよい。

テュール砲

列車砲 テュール砲

主砲 120cm砲

独逸が開発した巨砲であり、大きさの問題から二つの線路を使い、2両で牽引する必要がある。

射程はイギリス全土とアイルランドの一部を納めており、熟練兵なら7分、一般兵でも10分で次弾発射を行える。

対空車両と一緒に牽引することで対空防衛にも重点を置く事が出来、砲身も500kg爆弾ならある程度まで耐えることが出来る。

ゲルマン砲、ヒトラー砲と共にイギリス本土攻撃を行い、破壊された後は印度戦線でも砲撃を行う。

名前の由来は北欧神話の軍神

四式重戦車

四式重戦車（初期型）

武装

100mm長砲身砲

37ミリ機関砲2門（主砲付近1門 車体前部に1門）

装甲 60～120mm

速度 40km（整地） 32km（不整地）

ドイツのティーガー戦車に対抗して計画された重戦車。初期型から多くの電装品を備え、精度の高い主砲照準儀を補助していることから命中性能は文句無しの結果。基本概念は前述の通りティーガーに打ち勝つために開発されているため、設計者は88ミリ砲をわざわざ鹵獲に成功しているイギリスに問い合わせて威力を聞き、それに耐えうる装甲を装備させたことから実戦には遅れる形となった。だが、その甲斐あってか、前部装甲をティーガーが打ち破ることは滅多になかった。それでも後部や側面にはある程度の損傷は受ける。

設計者は原^{はら}

英牧^{ひでまき}

（前世で言う日本戦車の父

原乙未生^{はらとみお}）

イズン型戦艦

イズン型戦艦
イオン」
同型艦「イズン」「エイル」「グナー」「ゲフ

武装

41cm三連装砲三基

15.5cm連装高角砲八基

25mm連装機銃三十基

基準排水量47000t
満排水量56000t

速力31ノット

ドイツ海軍の建造した最大の戦艦。戦艦は時代遅れと考えた軍上層部はあまり装備の更新を行っておらず、装備は旧式戦艦並。辛うじて電探が装備されているだけで、射撃は目測射撃しかできない。最後の艦隊決戦に出撃という名誉の艦だが、結果は・・・

名前の由来は北欧神話の女神

陸軍単座戦闘機 爆動

陸軍単座戦闘機 爆動^{せんとく}

武装

20mm機銃6門（主翼に4門、機首に2門）

ロケット弾4基

速度690km
航続距離1800km（増槽ありで3000km）

爆撃機護衛型2300km（増槽ありで3500km）

ハ201エンジンを搭載した結果、重武装機でありながらもある程度の高速性を発揮している。陸軍の独逸レシプロ戦闘機圧倒計画に沿って計画された機体であり、独逸のレシプロ戦闘機相手には圧倒的な性能差を見せ付けられる。しかし、ジェット戦闘機に対しては優位を保てず、被害が増えてしまう。爆撃機の護衛用に開発された同型機が存在し、此方は主翼の外側の機銃を外されて4門になっており、その分の航続距離強化を行っている。

電子作戦艦 葛城

電子作戦艦 葛城かつらぎ

武装

20mm電探連動砲4基

総排水量9500t

速力35ノット

巨大なレーダードームを3つ備え、航空管制や敵の索敵、通信傍受から敵暗号の解読、火器管制、情報処理、電波妨害等の電子作戦全てをこれ一隻で行える電子戦特化艦。その為、武装は貧弱であり個艦防御力は非常に弱い。皇道の艦隊に先行配備が行われ、最初は実験的な意味合いが強かったが、改装によって後期に生産されていた同目的艦と同様の装備がなされた。

艦上攻撃機 心神

艦上攻撃機 心神しんしん

速度 時速740km

航続距離 2100km

武装 30ミリ2門（機首）

爆弾2000kg（基本的には250kg8個）

800kg航空魚雷2本（機体下部格納式）

1t航空魚雷2本（機体下部格納式）

航空戦艦専用に開発された複座急降下艦上攻撃機。高高度から一気に急降下して敵に攻撃を加えるべく開発された機体で、2tまで爆弾や魚雷を装備可能。機銃は、主に自機防衛用火器なので戦闘機同士の格闘戦には向かない。

名前の由来は現在日本が開発中のステルス実験機（将来、これが日本のステルス戦闘機等に生かされると期待されている）。

六式中戦車

6式中戦車

武装

85mm70口径砲 1門

12.7mm機関銃 1門（砲塔上部）

7.7mm機関銃 2門（車体前方、砲塔後部）

装甲 30～100mm

速度 55?（整地） 32?（不整地）

日本陸軍が開発した最後の中戦車。世界中の地形でも対応できる様に履帯幅を非常に長くとり、エンジンも強力な物を搭載したため、速度も速い。全体的にT34／85を強化したような性能である。中戦車としては日本陸軍の中で最も優れており、ドイツ軍中戦車の代表である?号戦車よりも優れた性能を発揮している。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0190r/>

皇道の艦隊 兵器紹介

2011年10月10日02時27分発行